

静岡県議会議長賞

# 15年の長い命・命の大切さ

静岡市立東豊田中学校

一年 寺 西 洋 平

僕の家には、15年間生きた犬のサスケがいました。僕が生まれる前から家にいて、とても利口な犬でした。母によると、生まれたばかりの僕が泣くと、心配してさげび、母や父に知らせたり、小さい頃の僕の横にはいつもサスケがいました。利口な反面おもしろいところもたくさんあり、母がいない間にテーブルの上に乗って降りられなくなったり、家の中を好き放題に荒したりしたこともあったそうです。そんな元気で、利口だったサスケでしたが、僕が小学3年生の頃から心臓病にかかり、何度も倒れ入院や点滴をくり返すようになり、元気をなくしていききました。僕とサスケの関係は家の中にいて同じ空間を共有するけど、お互いつかず、はなれずといった感じで、決して、とてもかわいがったとは言えませんでした。サスケは、病気になりながらもすごくがんばっていました。でもだんだん弱くなっていき、動くことさえ出来なくなり、その中で生き続け、12月18日に15年2カ月でこの世を去りました。最後は、父・母・僕が家にそろうのを待ってみんなが眠る時間にそとと去っていききました。サスケは、自分がおこられると僕に助けを求めてきま

した。僕のことを心配する兄や弟のようだったのかなと今は思っています。僕もサスケが家にいることを当り前に思わず、もつとかわいがったり、遊んだりしてやって楽しませてあげればよかったと思います、とても後悔をしています。そして、今までこんなことがありましたが、僕はサスケのことを愛していたし、とても大切な家族だったと思っています。サスケは、笑ったままこの世を去りました。お墓にもかざりました。天国に行っても、以前のサスケみたいに、元氣よく過ごしてほしいです。

今はペットを飼う人が増えていますが、お金がかかることや、面倒が見れないなどで、ペットを捨ててしまう人がいます。ペットは飼い主のことを信じ、愛しています。ちゃんと最後まで面倒を見てあげて欲しいです。最後に、サスケ、いままで本当にありがとう、楽しかったよ。